

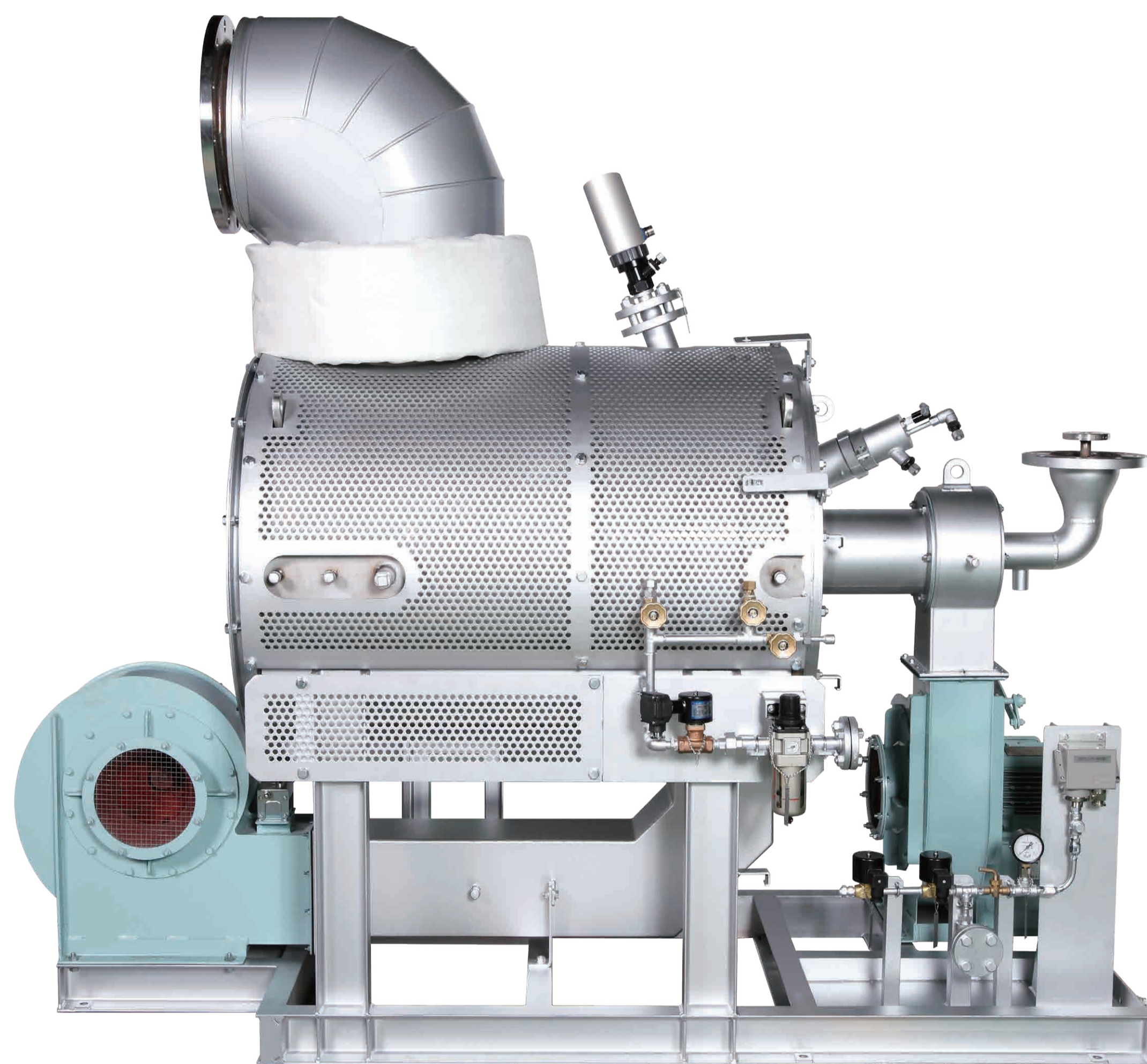
# 「小型～中型船舶での省スペース、省エネを図った蒸発ガス処理」

LNG燃料船においてガス燃焼ユニット搭載により、省エネルギー(再液化装置に比べて省電力)、省スペース(小型船への搭載実績あり)での蒸発ガス(可燃性ガス)処理を実現

## 対象船舶 / 設備

IGFコードで大気への放出が禁止されている可燃性ガスについて、ガスを燃焼させるボイラを搭載しない船舶

- 再液化 / 再圧縮などの装置の設置が困難な船舶
- 可燃性ガス処理装置のバックアップが必要な船舶や海上設備



MECS-GCU

## 技術情報 (特長)

- 油との混焼技術により、不活性ガス100%になるまで燃焼
- 供給ガス温度の標準は0℃～60℃、オプションでマイナス150℃まで対応
- タグボート以外にもLNGバンカリング船への採用
- 再液化や再圧縮での処理方法に比べ、電力消費が抑えられる
- LNGバンカリング船(船舶燃料供給船)をはじめ幅広い船種への対応が可能
- LNG燃料タンク内で発生する蒸発ガスを環境負荷が低い方法で安全に処理
- 25kg/h～1000kg/hまで幅広い蒸発ガス量の処理に対応できる製品を準備(製品名「MECS-GCU」メックスジーシーユー)